

LEGEND STAGE

第3学年 学年だより

最終号

令和8年3月2日発行

「人として・・・」

学年主任 堀 紘

3年生150名のみなさん、卒業おめでとう！3年間で振り返り、今どんな気持ちですか？

君たちには常に「森中最後の〇〇」というワードがのしかかり、知らず知らずのうちにプレッシャーを感じていた生徒も少なからずいたのではないのでしょうか。評価され、比較される機会も多く、本当に大変だったことでしょう。ただ皆さんは見事にすべての行事を大成功に導き、素晴らしい成果を残すことができましたね。私にとってはすべてが最高でしたが、特に「立志のつどい」「学校祭」「合唱祭」については今でも感動が鮮明に残っています。このタイミングで学年主任という立場で皆さんと過ごすことができ本当に幸せでした。ありがとう。

この2年間、私には誰にも言わなかった目標があります。それは「生徒にとっても、教員にとっても、大きな安心感のもとで適度な緊張感をもてる学年を創ること」です。「通いたい学校ってどんな場所か」「働きやすい職場ってどんな場所か」いろんな考えはありますが、私の中で最も大切なことは「安心感」です。ただ、安心ばかりではだめで、時々あるピリッと感が目を覚まさせ、原動力を生みまします。そういった意味での「緊張感」もまた学校には必要です。皆さんにとって、堀という存在がどういう存在かはわかりませんが、自分で言うのも変だけど、若かりし頃の教え子たちは全員が口をそろえて「先生はマジで怖かった・・・(笑)」と言います。教え子の結婚式や成人式で久しぶりに会うとその話題ばかり・・・30代後半までは鬼でしたね。でも40歳という「節目」を迎えてから、少しずつ「人として」の在り方が変化してきたように思います。

なぜ変わる必要があったのか。人生には「節目」というものがあります。私はその「節目」で、人は良くも悪くも変われると思っています。「中学校の卒業」はまさに、人生において大切な「節目」です。人は皆、悩みや不安を抱え生きています。それは大人も子どもも同じではないのでしょうか。大切なのは、その悩みや不安とどう向き合うか。私が変わったきっかけは、ある生徒・保護者との出会いでした。本当に毎晩悩み、苦しみ、正直心を病んだことも。体調の異変を感じてはいたものの、週末グラウンドで心拍数が200を超え、動けなくなり、救急車を呼ぶという経験もしました。伝わらない「苦しさ」「情けなさ」「悔しさ」など数知れない感情が溢れ、学校に足が向かない気持ちにまでなりました。でも、そんな時に支えてくれたのは当時の学年主任でした。他人に頼ることが得意ではなかった自分が誰かに頼り、何とかその局面を乗り越えることができました。誰かに頼っても良いんだという「安心感」が私を救ってくれた瞬間でした。その時に私は無意味なプライドを捨て、教員としての「節目」を迎えたのではないかと考えています。自分の考えを変えることは難しいですが、生きていくにはそれが必要な時が必ずきます。変わることが恥ずかしいことではなく、変なプライドが邪魔をして変わる勇気を持たないことの方がもっと恥ずかしいと今では思っています。それからは、自分も大きな「安心感」を誰かに与えられる人になりたいという思いを大切に教員を続けてきました。みなさんに少しは「安心感」を与えることができただけでしょうか？

皆さんもこれからの人生で、たくさんの苦しい場面に遭遇することでしょう。ただ、精一杯頑張っていれば必ずそこには自分を支えてくれる存在があることを忘れないでください。そして、困難を乗り越える過程が、人生に変化をもたらすことも。「人としてかっこよく生きること」それさえ見失わなければ、必ず人生が豊かになると信じ、力強く生きていってほしいと思います。

2月から長男が夢を追いかけ大阪に旅立ち、二男はすでに京都で寮生活中。2人の息子たちが家を離れ、寂しい毎日を送っていますが、最近はその空いた時間を音楽鑑賞の時間にあてています。そこで出会った素晴らしい曲の歌詞の一部を皆さんに送り、私からのはなむけの言葉とします。3年間本当によく顔晴りました！卒業おめでとう！

「人として」 アーティスト名: SUPER BEAVER

僕は迷う 僕は悩む だけど逃げたくないし 自分を棚に上げたくはないし
疲れるなあ 虚しいなあ それでも 誰かのせいに したく無いんだ カッコ悪いから
どうなんだよ 信じ続けるしかないじゃないか 愛し続けるしかないじゃないか
わかってるって 自分が一番可愛いなんて 誰だってそうだ じゃあ 共に笑うにはさ
そうなんだよ 信じ続けるしかないじゃないか 愛し続けるしかないじゃないか
身に覚えのある失敗を どうして指差せる？
受け止める以外はないじゃないか 愛し続けるしかないじゃないか
馬鹿だねって言われたって カッコ悪い人にはなりたくないじゃないか

人として 人として かっこよく生きていたいじゃないか



【学年教員からのメッセージ】

< 1組担任：松本拓也 >

「成功だけが続く人生なんてありえない」

仕事や勉強、人間関係につまずいて心が折れそうになっても、挫折感にとらわれても落ち込む必要はまったくない。失敗やつまずきを経験したことのない人よりも、何度も転んでつまずいて、そのたびに立ち上がった人の方が強くなれる。失敗するたびに「こうすればよかったのかな」と、ものの見方や感じ方、考え方が変わってくる。それが、人としての成長だから。挫折を愛し強く生きよ。

< 2組担任：岡崎未紗 >

先生にとってみなさんは初めて担任をさせてもらった学年です。何がしてあげられるのだろうと不安な時もありましたが、何気ない日常のやりとりやみなさんの笑顔に支えられてきました。この学年で担任として一緒に過ごした時間は、とても楽しく最高の時間でした。ありがとう。これからはもう一緒に過ごせませんが、みなさんの活躍を祈っています。また、どこかで成長したみなさんに会えるのを楽しみにしています！

< 3組担任：三井清喜 >

1年間ありがとうございました。森田中学校最後の卒業生となるLegend3年生のみなさんと同じ時間、同じ空間で過ごせたことは、私の財産です。次の進路先での活躍が私の耳に入ってくるのを楽しみにしています。ではまたどこかで。

< 4組担任：田村太一 >

人生の次のステージに進むみなさんへ、ある曲の歌詞を紹介します。“ずっとこのままがいいな 変わりゆくのが世の常だとしても”
そんなふうに見える3年間でしたか？楽しいことも嬉しいことも、そして辛いことも、ずっと続くことなどありません。だからこそ、今、この瞬間を大切に。そして冒頭の曲はこう歌います。“さよならまたいつか会える日まで 君は君のままで歩いてゆけよ”！

< 5組担任：竹澤沙貴 >

振り返れば、もうこんなところまで来てしまいました。私は、あなたたちが自分で考え、越えていくべき壁になれたでしょうか。本当は、みんながあんまり楽しそうにしていたから、また一緒に修学旅行に行きたいな。もっと授業もしたかった。けれど、せめて一緒にこの森田中学校に来られたこと、一緒にこの森田中を去ることができることは、私の喜びです。圧倒的感謝。新しい環境でも、自分を大切にしてほしいし、まわりの人たちからも、大切にされますように。いつまでも、健やかで。

< 7・8・9組担任：橋本紫保 >

皆さんの穏やかで真面目なところに触れ、一緒に過ごせた時間は本当に楽しかったです。その「親しみやすさ」は、これから先、多くの人を味方にする皆さんの素敵な武器になります。気負いすぎず、自分らしく明るい気持ちで進んでいってください。新しい場所での毎日が、温かなものになるよう応援しています！

< 副担任：佐藤恵美 >

1年間、みなさんと楽しく過ごさせてもらいました。家庭科の授業、幼稚園訪問、修学旅行、学校祭での衣装部門。いろいろな思い出がありますが、何より普段の何気ないおしゃべりが楽しかったです。4月からの、みなさんの新しいスタートを応援しています。ありがとうございました。

< 副担任：前田明希 >

「起承転結」、物語などの構成を表す言葉ですね。中学校生活の、入学式を「起」、卒業式を「結」とすると、みなさんの「承」と「転」はどの場面ですか？ 3年間、たくさんの方があったからこそ、人によってどこが「承」で「転」なのか違うでしょうし、そもそもどの場面が悩むでしょう。どんな道筋をたどっていても、皆さん全員、「中学卒業」のハッピーエンドです。3年間やってきたことを胸に、次のステージでも素敵な物語がありますように。頑張ってください。



いつまでも応援しています！今後の皆さんの人生に幸せがたくさん訪れますように！

< 3月24日(火)離任式について >

8時45分～9時15分の時間帯で、福井市北体育館にて行います。離任式に参加を希望する場合は、8時00分～8時15分の間に北体育館正面玄関前に集合してください。服装は制服です。内履きも各自準備してください。よろしくお祈りします。

修学旅行積立金から、卒業アルバム・卒業DVD代(合計21,990円)を徴収させていただきました。この2つは、卒業式の写真や動画を中に組み込み、6月頃に各ご家庭に郵送させていただきますので、是非お子様とご覧になってください。